



「国際化で大学は変わったか」 グローバル30総括シンポジウム

概要

平成21年度に開始された「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業（グローバル30）」が、平成25年度末をもって終了するにあたり、グローバル30採択大学主催の総括シンポジウムを福岡で開催します（運営：九州大学）。本シンポジウムでは、実施大学がこれまで何を学んだかについて検証し、その経験を今後、我が国の大学国際化にどう活かすかについて議論します。

背景

文部科学省が平成21年度に開始した国際化拠点整備事業（グローバル30）には、全国で13大学（国立7大学、私立6大学）が採択されました。本事業は、日本政府が平成20年7月に決定し、2020年（平成32年）を目途に当時の約3倍となる30万人の留学生受入れを目指す「留学生30万人計画」の実現と、留学生を惹きつける魅力ある大学づくりを目指して開始され、採択大学においては、英語による授業のみで学位が取得できるコースを設立するなど、留学生数増加のために取り組んできました。

平成22年度の行政刷新会議の結果、平成23年度からは「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業（グローバル30）」として、大学間のネットワーク形成、日本人学生への裨益、また、産業界との連携などに力点が置かれて実施されてきましたが、平成25年度末をもって5年間の事業が終了を迎えます。今回の総括シンポジウムは、同事業の最後を飾る公開シンポジウムとして、九州大学の企画運営により、全ての採択大学が参加して開催するものです。

内容

- 開催テーマ
「国際化で大学は変わったか」
- 開催日時
平成26年2月14日（金）13:00～18:15
- 場所
ホテル日航福岡（福岡市博多区博多駅前2-18-25）
- プログラム
 - 13:00 開会式
 - 開会あいさつ 九州大学理事・副学長 藤木 幸夫
 - 基調講演 比治山大学・比治山大学短期大学部学長 二宮 皓
モナシュ大学（オーストラリア） ジェレミー・ブレードン
 - 14:00 ポスターセッション（各大学の取組みの紹介）
 - 14:30 課題別セッション
 - A. 海外展開で得たもの：広報活動・海外拠点
 - B. 英語による教育：アドミッション・カリキュラム・教授法
 - C. 国際化に対応した環境のつくり方：サポート体制・宿舎
 - D. 学生が見る国際化：Voice of Students
 - 16:15 ポスターセッション（各大学の取組みの紹介）
 - 16:45 全体会合及び閉会式
 - 課題別セッションのまとめ及び質疑応答 司会：明治大学副学長 勝 悦子
 - 文部科学省プレゼンテーション
 - 閉会あいさつ 東京大学副学長 羽田 正
 - 18:30 懇親会

- 主催
グローバル30採択大学
東北大学／筑波大学／東京大学／名古屋大学／京都大学／大阪大学／九州大学／慶應義塾大学／
上智大学／明治大学／早稲田大学／同志社大学／立命館大学
- 共催
文部科学省
- 運営
九州大学

※ プログラムの詳細及び参加申込みについては、<http://www.uni.international.mext.go.jp/ja-JP/>をご参照ください。

【お問い合わせ】

G30プロジェクトオフィス おぼた 御幡・ポーリック

電話：092-642-3953

FAX：092-642-3949

Email：intlrsuishin@jimu.kyushu-u.ac.jp